

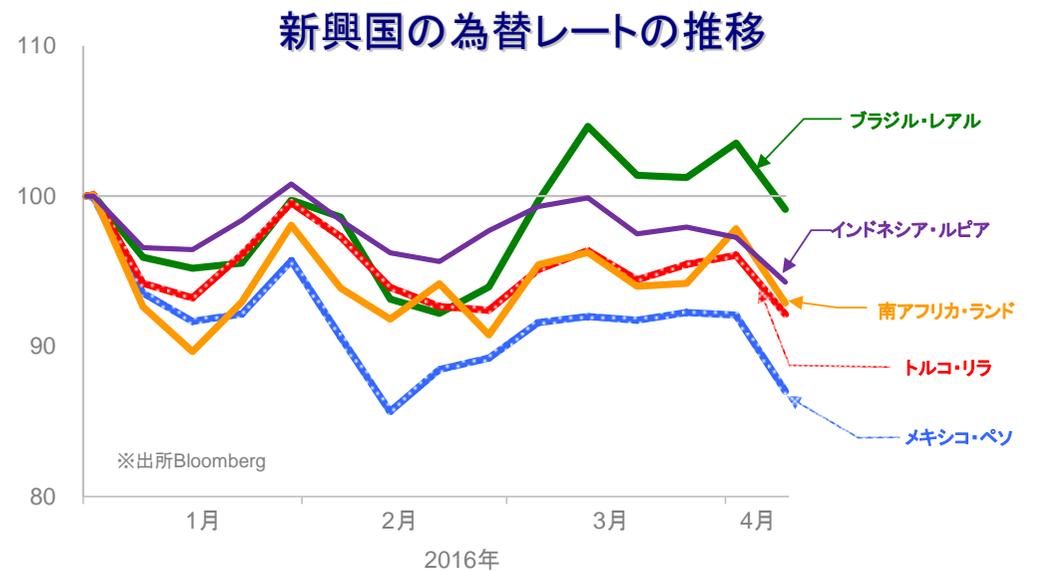
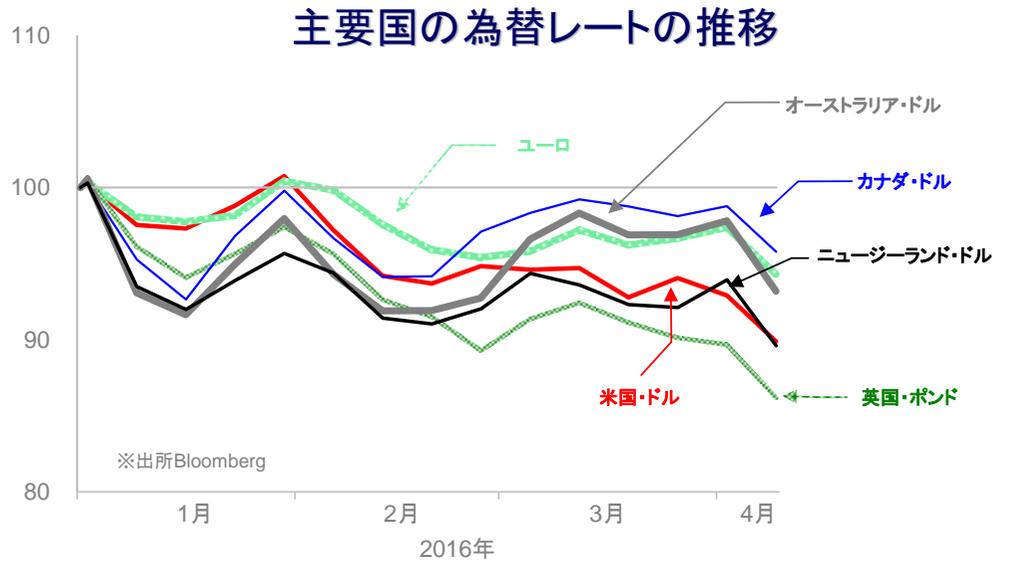
◎おもな出来事

・経済指標：米国では3月のISM非製造業景況感指数が前月から上昇した。ユーロ圏では2月の失業率が上方改定された前月から小幅に低下した。ドイツでは2月の鉱工業生産が前月から小幅ながら減少した。中国では3月の外貨準備高は前月から増加した。  
 ・中央銀行：3月のFOMC議事録によると、4月の追加利上げに関する議論の中で慎重姿勢を示すメンバーが多数だったことが明らかになった。3月のECB理事会議事録によると、政策対応の必要性については概ね合意したものの、マイナス金利政策の拡大に対する意見の対立が明らかになった。  
 ・政治：米国財務省は海外企業とのM&Aを使った米国企業の租税地変換を防止するための新たな規制を決定した。パナマの法律事務所が作成した租税回避地を利用した節税に関する内部文書(いわゆる「パナマ文書」)が流出し、アイスランド首相は同文書により資産隠し疑惑が広がったことから辞任した。

✓外国為替相場の動き

米国では早期の利上げ観測が後退する中、日本では首相が通貨安競争を回避すべきとの認識を示したことを受けて円売り介入に対する警戒感が後退したこともあり、主要国通貨は日本・円に対して下落し、新興国通貨は下落幅を拡大

○世界景気に対する慎重な見方が広がったことから、主要国ではオーストラリア・ドルやニュージーランド・ドル、新興国通貨ではメキシコ・ペソや南アフリカ・ランドといった資源国および商品関連通貨の下げ幅が大きい



✓外国為替市場

	通貨	4月8日	前回基準日	騰落率
		祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載		
主要国	米国・ドル	108.07	111.69	-3.24%
	ユーロ	123.19	127.21	-3.16%
	英国・ポンド	152.71	158.90	-3.89%
	カナダ・ドル	83.20	85.81	-3.04%
	オーストラリア・ドル	81.63	85.69	-4.73%
	ニュージーランド・ドル	73.57	77.12	-4.61%
新興国	ブラジル・レアル	30.096	31.434	-4.25%
	メキシコ・ペソ	6.083	6.437	-5.50%
	トルコ・リラ	37.931	39.547	-4.09%
	南アフリカ・ランド	7.216	7.600	-5.06%
	インドネシア・ルピア※	0.822	0.848	-3.07%
	中国・人民元	16.754	17.318	-3.26%

※100外貨あたりの対円レートを表示

※各為替レートの2015年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

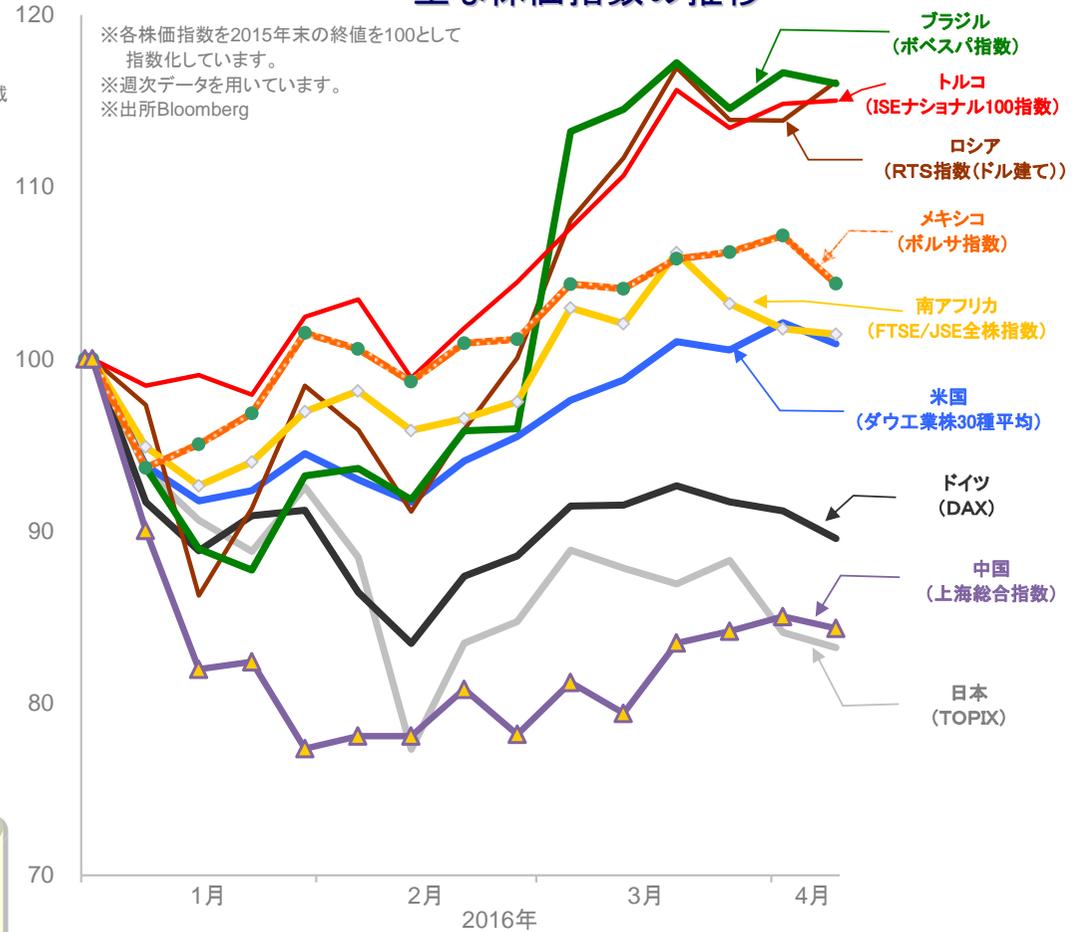
2016年4月11日

株式市場

国	株価指数	2015年末比	
		騰落率(※)	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日との比較を記載			
日本	日経平均株価	-2.12%	-16.88%
	東証株価指数(TOPIX)	-1.05%	-16.78%
	JASDAQ INDEX	-1.88%	-8.12%
米国	ダウ工業株30種平均	-1.21%	0.87%
	S&P500	-1.21%	0.18%
北米	ナスダック総合株価指数	-1.30%	-3.13%
	カナダ S&Pトロント総合指数	-0.33%	2.97%
主要国	英国 FTSE100	0.95%	-0.61%
	ドイツ DAX	-1.76%	-10.43%
	フランス CAC40	-0.44%	-7.20%
	イタリア FTSE MIB	-1.53%	-18.27%
	オーストラリア S&P/ASX200指数	-1.24%	-6.77%
	中国 上海総合指数	-0.82%	-15.66%
新興国	韓国 韓国総合株価指数	-0.08%	0.55%
	香港 ハンセン指数	-0.63%	-7.05%
	台湾 台湾加権指数	-1.34%	2.44%
	インド S&P BSE SENSEX	-2.36%	-5.53%
	ロシア RTS指数(ドル建て)	1.99%	16.12%
	トルコ イスタンブール100種指数	0.17%	15.02%
	ブラジル ボベスバ指数	-0.53%	16.02%
他	メキシコ ボルサ指数(IPC)	-2.61%	4.38%
南アフリカ	FTSE/JSE 全株指数	-0.31%	1.44%

※騰落率は前回基準日と今回基準日の各株価指数を比較しています。

主な株価指数の推移



日経平均株価、東証株価指数、JASDAQ INDEX、ダウ工業株30種平均、S&P500及びS&Pトロント総合指数及びS&P/ASX200指数、ナスダック指数、FTSE100及びFTSE MIB及びFTSE/JSE 全株指数、DAX、CAC40、上海総合指数、韓国総合株価指数、ハンセン指数、台湾加権指数、S&P BSE SENSEX、RTS指数、ISEナショナル100指数、ボベスバ指数、ボルサ指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ、日本経済新聞社、株式会社東京証券取引所、S&P Dow Jones Indices LLC、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エル シー、The NASDAQ OMX Group, Inc.、FTSE社、ドイツ証券取引所、ユーロネクスト、上海証券取引所、韓国取引所、Hang Seng Indexes Company Limited、台湾証券取引所、ボンベイ証券取引所、ロシア取引システム、イスタンブール証券取引所、サンパウロ証券取引所、メキシコ取引所に帰属します。

マーケットの動き

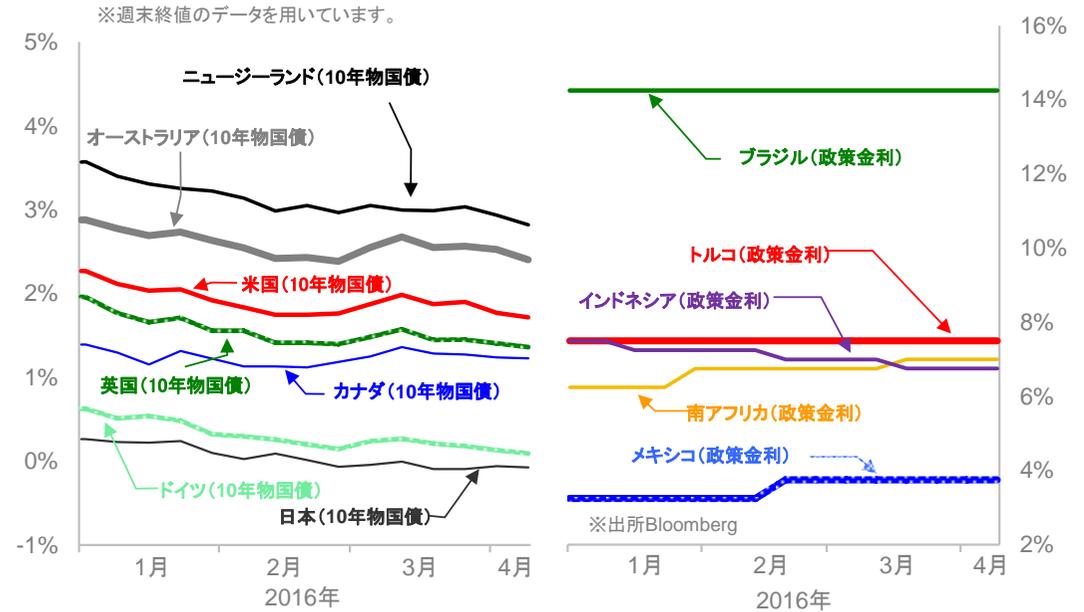
- 世界の株式相場は、世界景気に対する慎重な見方が広がる中、概ね下落
- 日銀は、設備および人材投資に積極的に取り組む企業を対象にしたETFの買い入れを開始した
- 米国では、租税回避に対する新たな規制を受けて、すでに合意が発表されていた医薬品業界で史上最大となる合併計画が撤回された
- 英国では、原油価格の上昇を受けて大手エネルギー関連銘柄が上昇。一方、ドイツでは2月の製造業受注や鉱工業生産が前月比でマイナスとなったことも下落要因となった

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

金利

国	4月8日	前回基準日	差
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
主要国			
日本	-0.075%	-0.059%	-0.016%
米国	1.718%	1.771%	-0.053%
ドイツ	0.095%	0.134%	-0.039%
英国	1.363%	1.409%	-0.046%
カナダ	1.229%	1.238%	-0.009%
オーストラリア	2.404%	2.527%	-0.123%
ニュージーランド	2.819%	2.937%	-0.118%
新興国			
ブラジル	14.25%	14.25%	±0.00%
メキシコ	3.75%	3.75%	±0.00%
トルコ	7.50%	7.50%	±0.00%
南アフリカ	7.00%	7.00%	±0.00%
インドネシア	6.75%	6.75%	±0.00%

主要国および新興国の金利の推移



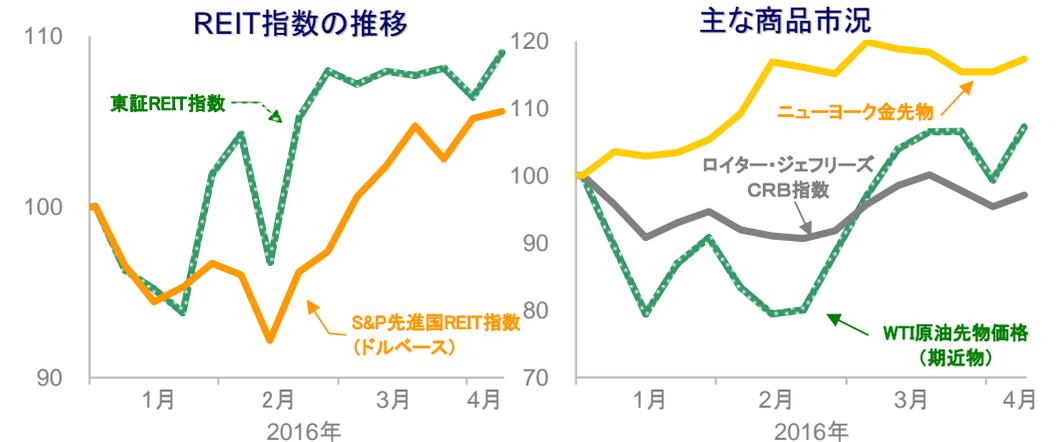
REIT、商品市況

	4月8日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
○ REIT			
東証REIT指数	1905.39	1859.75	+2.45%
S&P先進国REIT指数(ドルベース)	261.63	260.61	+0.39%
○ 商品			
WTI原油先物価格(期近物)	39.72	36.79	+7.96%
トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数	171.04	168.03	+1.79%
ニューヨーク金先物(6月限月)	1243.80	1223.50	+1.66%

※ 東証REIT指数、S&P先進国REIT指数、WTI、トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ株式会社東京証券取引所、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシー、ニューヨーク商業取引所、Thomson Reuters、Jefferies Financial Products,LLCに帰属します。

マーケットの動き

- 主要国の長期金利は、世界景気に対する慎重な見方が広がる中、概ね低下
- オーストラリアでは政策金利の据え置きを決定
- 原油価格は、生産調整協議を巡る不透明感から下げる場面があったが、米国の原油在庫および生産の減少が支援材料となり大幅に上昇
- 東京証券取引所は、2015年に創設したインフラファンド市場への第一弾となる上場申請を承認した



※各指数は、2015年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。※出所Bloomberg

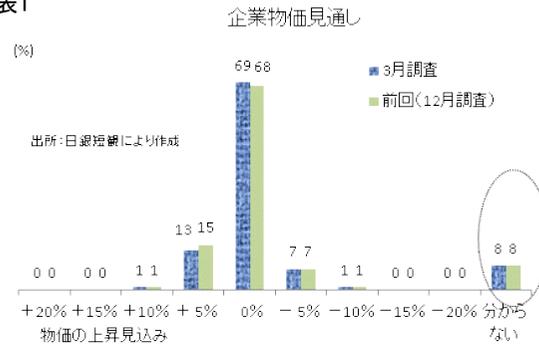
●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

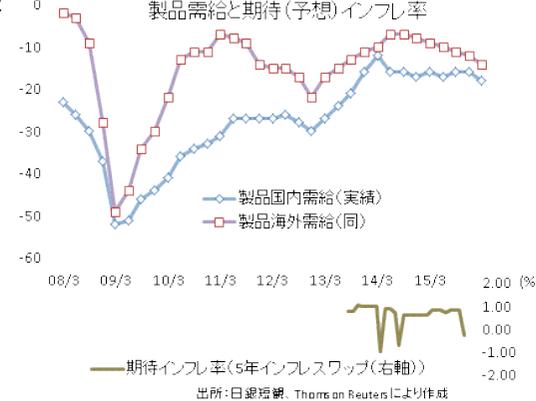
2016年4月11日

○ 日本経済 足下での設備投資、需給、物価(2) ～GDP統計、日本銀行全国企業短期経済観測調査(日銀短観)より

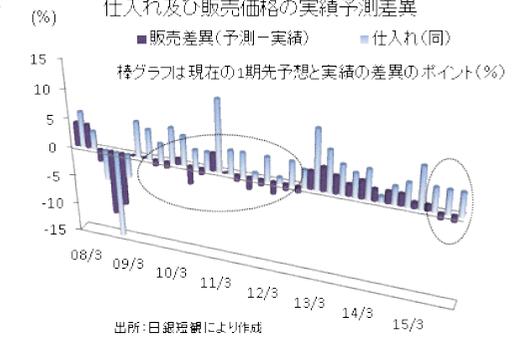
図表1



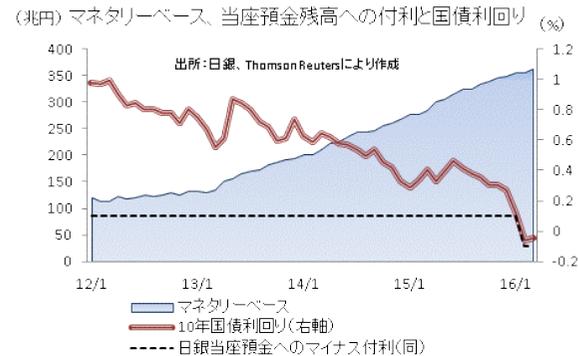
図表2



図表3



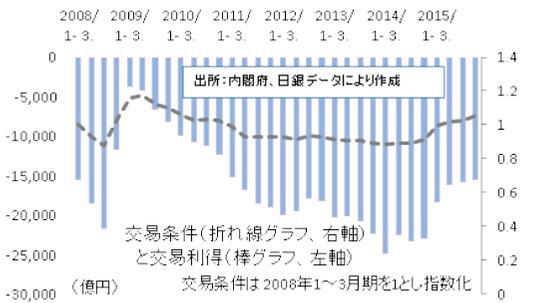
図表4



図表5



図表6



図表7



○物価については、日銀短観でも継続的な上昇圧力はみられない(図表1)。製品の国内外の需給は弱含んでおり、仕入および販売価格の予想と実績との差からも同様の傾向がみられる。特に販売価格の低下、仕入れの上昇予想という組み合わせは2009～2011年頃のデフレ商状と同様の状況になっている(図表2,3)。2013年4月以降の日銀の量的・質的緩和、いわゆる「異次元緩和」と称した国債買入れを中心とした量的金融緩和策の強化は順調に進展してきたが、エネルギー価格の下落等もあり期待されたほどの効果はみられない。特に2015年4月以降、前年の消費増税の影響が剥落し、折からの原油価格の下落、円安トレンドの終焉も重なり消費者物価指数(除く生鮮食品)は前年比で0%近くで推移している。ただ、2010～2013にかけて悪化の続いた取引利得(※)、取引条件等は改善に向かっておりデフレの状況に陥っていることはないと思われる。政策開始当初は2年程度としていた2%の物価安定目標も先送りされており手詰まり感もあった。これらの状況を転換するため日銀は2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入に踏み切った(実施は2月)。ただ、これまでの経験から物価上昇率の底上げは金融政策のみでコントロールするのは基軸通貨国や閉鎖経済体系でない限り限界もあるように思える(図表4～6)。近年の物価上昇率の低下は米国で一時盛んに議論された経済の長期停滞論を示唆しているようにもみえる(図表7)。デフレ脱却を確実にするためにはマイナス金利を有効に活用し財政政策の導入・実施、特に予算の前倒し執行や交付による一時的な支出増による統計のかさ上げではなく、効果の発現までに時間を要する投資にも配分が必要と思われる。これらの検討が必要な時期に来ているのではないかと考えられる。

(※) 取引利得とは国内総所得と国内総生産の差額で、名目値では一致する双方の値が実質値に変換された際に差として現れてくる。デフレーターに起因するもので、実質GDPに反映されていないNETの海外との受け払い額とされ、国内のデフレ状況を説明する際の指標ともなる

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。